

市内全域で 防災訓練を実施

3月21日、市内全域で大地震の発生を想定した防災訓練を実施しました。市全体での訓練は今回が初めてです。

屋外スピーカーやFM放送、メール配信システムなどで避難を呼び掛け、参加者は市や自主防災組織が開設した避難所への避難訓練を行いました。

避難先の1つとなった第二中学校の体育館では、市防災士ネットワーク会長の竹原茂さんが講話し、「地震は突然起こる。家具の固定や非常持ち出し品の準備など、備えが大切」と話しました。市は今後も自主防災組織などと協力し、地域の防災力の向上に取り組みます。



▲第二中学校の体育館に避難する訓練の参加者

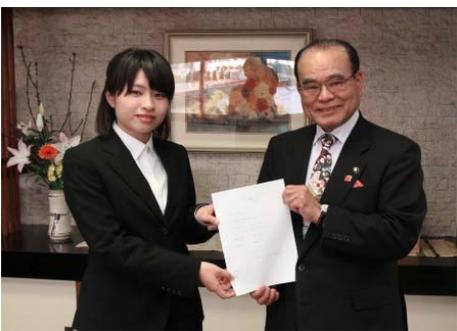
危機管理課

☎0848・67・6197

鷺浦町に地域おこし 協力隊員が着任

先月2日、鷺浦町で活動する地域おこし協力隊の隊員に、兵庫県姫路市出身の松岡さくらさんが着任しました。任期は最長3年で、当面は住民組織やボランティアグループなどで活動する予定です。

松岡さんは大学で、過疎化が進む地方の活性化などを研究テーマに選択。調査で鷺浦町を訪れたことがきっかけになり、隊員を志すようになりました。依頼状の交付式で松岡さんは「農産物を使った商品を開発し、ブランド化を進めたい」と意気込みを語りました。現在市内では松岡さんを含め5人の地域おこし協力隊員が活動中です。



▲天満市長から依頼状を受け取る松岡さん

地域企画課

☎0848・67・6184

計画案への意見を募集します(パブリックコメント制度)

パブリックコメント制度は、計画の素案について市民の皆さんの意見を募集し、それに対する市の考え方を公表するとともに、意見を考慮して最

終的な計画を作る制度です。

「目標に加えてほしい」「こんな事例を検討してはどうか」など、計画案への意見を寄せてください。

募集する計画案	汚水処理施設整備計画	公共施設類型別実施計画 (社会教育系施設ほか6類型)
計画の概要	今後10年程度で計画的に汚水処理施設を整備するため、整備区域の見直しや目標数値などについて定めるもの	老朽化した公共施設の改修・建て替え費用が将来の負担とならないよう、施設の見直しについて定めるもの
公表と意見の提出期間	10日(木)～31日(木)	
計画と意見書(様式)の設置場所	下水道整備課(円一町庁舎3階)	経営企画課(市役所本庁3階)
	情報公開コーナー(市役所本庁3階)、各支所、保健福祉課(サン・シープラザ3階)、各保健福祉センター、中央・本郷・久井・大和図書館、市ホームページ	
提出できる人	市内在住・在勤・在学の人、市内に事業所がある個人・法人	
提出方法	持参、郵送、ファクス、Eメール	
提出先 ※郵送の場合は、〒723-8601 港町三丁目5番1号 三原市役所宛。	下水道整備課(☎0848・67・6049 ☎0848・64・6057 gesuidoseibi@city.mihara.hiroshima.jp)または各支所	経営企画課(☎0848・67・6009 ☎0848・64・7101 keieikikaku@city.mihara.hiroshima.jp)または各支所へ

※意見に対する個別の回答は行いません。市ホームページなどで提出された意見と市の考えを公表します。